

環境
第21回日本水大賞
「NPO富里のホタル」が
文部科学大臣賞を受賞

6月25日、日本科学未来館で開催された第21回日本水大賞表彰式で、「NPO富里のホタル」が文部科学大臣賞を受賞しました。

同団体は、身近にある里山の保全の大切さへの認識が高まる中で、千葉県にある印旛沼流域内の里山周辺をフィールドに、植樹などの里山保全活動を実施しています。

将来にわたり活動の持続性を確保する観点から幼稚園児を対象にした教育活動、小学生を対象にした自然観察会や稲作体験学習、中学生・高校生を対象にした調査活動やボランティア活動の支援など、年齢に応じた環境教育への取り組みが評価され受賞となりました。



▲左から、NPO 富里のホタル理事長の草野さん、相川市長、副理事長の岡本さん

防災
新橋区を対象とした
土砂災害防災訓練を実施！

6月15日、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の一部指定されている新橋区で、土砂災害に対する防災訓練を実施しました。

訓練は「自らの命は自らで守る」ことを基本とし、避難時の一連の流れを地域の自主防災組織、消防団などと協力し行いました。

また、協定を締結している市商工業促進協議会や自衛隊・消防署が連携し、模擬家屋からの救出訓練の展示や土のう作り体験、資機材の展示などを行いました。



市 民 活 動 紹 介

vol. 4

平成30年度市民活動感謝状の受賞者を紹介します。

市民活動推進課 ☎ (93) 1117

越智 政俊さん・紺谷 昭平さん

藤田 桂一さん

活動経歴

●越智さん 平成8年に富里グラウンド・ゴルフ協会に入会し、週3回活動しています。平成9年頃に副会長になり、現在は会計監査などの役員をしています。

●紺谷さん 平成12年に富里グラウンド・ゴルフ協会に入会し、週3回活動しています。平成16年頃から会長・副会長を歴任し、現在も役員として、千葉グラウンド・ゴルフ協会の研修などにも参加しています。

活動内容

週3回（月・水・金曜日）の活動日（7月～9月は月・金曜日の週2回）に、富里中央公園で1時間半くらい活動しています。

活動を始めたきっかけ

●越智さん 30歳のときに福岡県の体育指導委員になり、地域の社会活動が続けていました。定年退職後に何か始めようと思い、当時入っていた高齢者向けの大学の授業の中に、グラウンド・ゴルフがあったことから入会しました。

●紺谷さん もともと中沢みどり台の自治会役員をしており、その中でシルバークラブを作りました。グラウンド・ゴルフは健康に良いため、シルバークラブ内の人に、声を掛け入会したのがきっかけです。

今後の抱負など

●越智さん 92歳ですが、今後もポジティブ、前向きに活動していきたいです。現在、高齢化で入会する人が少なくなっていますが、グラウンド・ゴルフは誰でもできるスポーツなので入会者を増やしていきたいです。

●紺谷さん 退職後何か活動を始めたいと考えている人などを誘い、グラウンド・ゴルフ協会の入会者を増やしていきたいです。



越智さん



紺谷さん

活動経歴

昭和61年から、「いずみつくし会」の会報である「いずみつくし会だより」を年に2回（1月頃と6月頃）発行しています。

活動内容

市の健康推進課からもらった資料を整理し、順序などを考慮しながら写真やイラストを貼ったり、コメントを付け加えたりしながら、「いずみつくし会だより」の編集を行っています。

大体A3のサイズで7～8ページほどにまとめることが多く、内容によって1週間～1ヶ月ほどで作り上げています。

活動を始めたきっかけ

市の糖尿病予防教室の事後育成として発足した「いずみつくし会」で、会員同士の連絡をはかるために会報を発行したことがきっかけです。自分も文章を書くことやまとめることが好きだったため、発行に関わってきました。

今後の抱負など

配っても読んでもらえなければ意味がないので、どうしたら興味を持って読んでもらえるかを考え、内容を面白く編集し、楽しく読んでもらえるようにしたいです。今後も、皆さんの励ましになれるよう、活動を続けていきたいです。

